

金融市場NOW

欧米の景況感と日本の景況感の差は依然として大きい

足元の新型コロナウイルス新規感染者数増加が懸念材料

- ▶ 欧米の総合PMIが好不況の節目と言われる50を大きく上回る一方で、日本の総合PMIは3カ月連続で50を割り込む。
- ▶ 4度目の緊急事態宣言等を受けて、日本のサービス業景況感の依然として低迷。
- ▶ 感染者数増加が止まらない場合には、年後半の景気減速も懸念される。

～ 欧米と日本で引き続き景況感に大きな差 ～

IHSマークイットが23日に発表した7月の米国総合PMI（購買担当者景況感指数、速報値）は59.7と6月の63.7から4.0ポイント低下したものの、依然として50を大きく上回っています。また、ユーロ圏の総合PMIも60.6と6月の59.5から1.1ポイント上昇し、21年ぶりの高水準となりました。一方で、26日に発表された日本の総合PMIは47.7と6月の48.9から1.2ポイント低下し、3カ月続けて好不況の節目とされる50を割り込みました(図表1)。

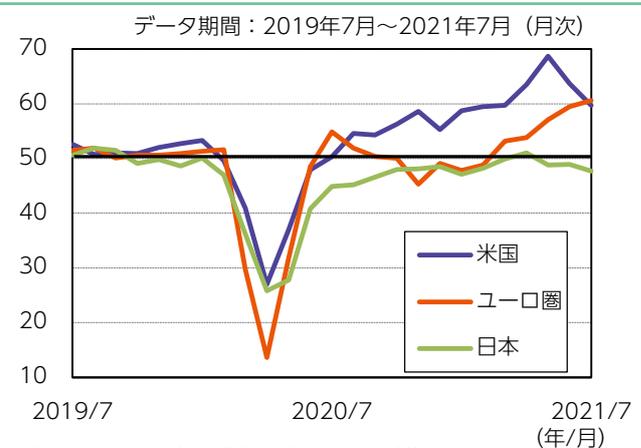
～ 日本のサービス業が50を下回る ～

製造業PMIは米国が63.1(前月比+1.0)、ユーロ圏が62.6(同-0.8)、日本が52.2(前月比-0.2)といずれも50を上回りました(図表2)。サービス業PMIは米国が59.8(同-4.8)、ユーロ圏が60.4(同+2.1)と50を大きく上回る水準となった一方で、日本は46.4(同-1.6)と50を下回る水準となりました(図表3)。経済活動の再開等もありユーロ圏のサービス業景況感の改善が続いているものの、先行して改善していた米国では改善が一服しつつあります。日本では、4度目となる緊急事態宣言等を受けて、再び悪化しました。

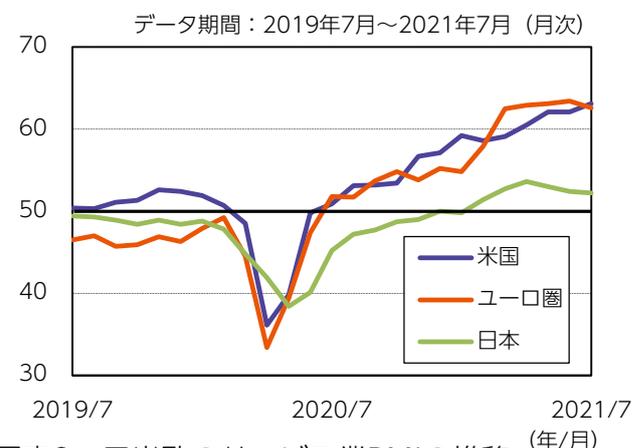
～ 新型コロナウイルス感染者数増加が懸念材料～

日本をはじめとして世界各国で、感染力が強い新型コロナウイルスのデルタ株の感染が拡大しつつあり、一部の国では再びロックダウン（都市封鎖）等の制限措置が採られ始めています。人の移動が制限されれば、サービス業の景況感の再び悪化することが予想されます。ワクチン接種の進展等により、感染者数増加を抑制できるかどうか今後の日本のサービス業PMI改善のカギを握る可能性は高く、感染者数が減少しない場合には、年後半にかけて景気減速が懸念されるものと思われます。

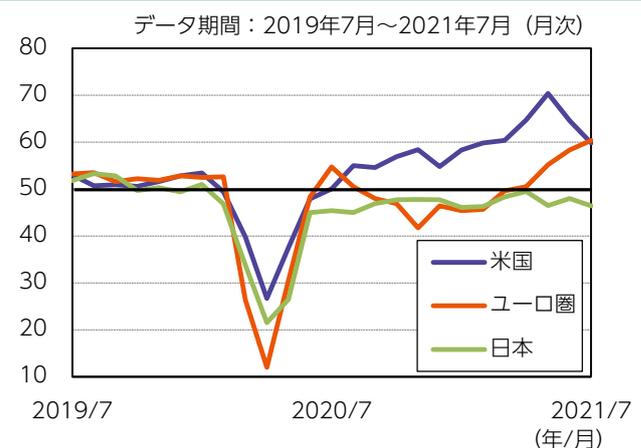
図表1：日米欧の総合PMIの推移



図表2：日米欧の製造業PMIの推移



図表3：日米欧のサービス業PMIの推移



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>